

学校教育目標 ○自ら学び、考える子 ○心豊かで、思いやりのある子 ○たくましく生きる元気な子

え ど が わ 春日部市立江戸川小中学校

学校だより12月号



EDOGAWA

江戸川小中学校ホームページ <https://schit.net/kasukabe/edogawa/>

令和7年12月1日

児童生徒数 197名

正義の味方

校長 鈴木 美江

ウルトラマン、仮面ライダーなど、いつの時代にも悪者を倒してみんなの平和を守り、子供たちを夢中にさせるヒーローがいます。私も、子供の頃にはたくさんのヒーロー番組を見て、男の子に混じってヒーローごっこをして遊んだものです。しかし、大人になった今、改めて魅力があるヒーローを一人あげるとするなら…それはアンパンマンです。9月末には、朝ドラの「あんぱん」も盛況の中最終回を迎えました。なぜ『それいけ！アンパンマン』は、これほどまでに長く、深く、子供たちの心を掴み続けるのでしょうか？その絶大な人気は、決して偶然ではありません。実はその裏には、心理学や教育学に基づいた緻密な仕掛けと、作者やなせたかしさんの壯絶な人生から生まれた深い哲学が隠されているといいます。

アンパンマンは、他とは少し違った「正義の味方」です。ウルトラマンも仮面ライダーも、地球や世界の平和を守るために悪者と戦います。それが、役割です。しかし、アンパンマンは違います。確かにアンパンマンもばいきんまんをやっつけますが、アンパンマンの一番大切な役割は、ばいきんまんを倒すことではありません。荷物が重くて困っている人を見付けたら助けに行く…。お腹がすいている人がいたら、自分の顔を食べさせてお腹をいっぱいにしてあげる…。それがアンパンマンの最も大切な役割であり、正義なのです。アンパンマンの凄いところは、それだけではありません。いつも意地悪をしてみんなを困らせるばいきんまんでさえ、困ったり死にそうになったりしていたら助けてあげるのです。

世の中には、親切な人がたくさんいます。しかし、自分に嫌なことや意地悪なことばかりする人が困っていたときに、何のためらいもなく助けてあげられるでしょうか。

12月10日は、今から77年前の1948年に国際連合の総会で「世界人権宣言」が採択された日です。それから毎年、12月10日が、世界中で人権について考える日「世界人権デー」となりました。江戸川小中学校では、学校だより11月号でも紹介したように江戸川サミットの柱の1つとして「よりよい仲間づくり」について考えました。「友達への言葉づかいを考えよう」をテーマとして、「友達を大切にし、プラスの言葉を使います」を今年度の提言としました。今月は、オンラインで他校との交流を行って本校の取組を発表し、意見交換も行います。子供たちには、様々な機会を通して、人権の大切さやその意味をつかんで欲しいと思います。

学校では、4月から始めた善行の児童生徒を表彰するひまわり賞が、延べ140名を超えるました。子供たちの小さな優しさやよさがどんどん広がっています。

アンパンマンの作者やなせたかしさんは、本当のスーパーマン（＝正義の味方）とは、「ほんのささやかな親切を惜しまない人」と記しています。子供たちには、「アンパンマンのような心をもった正義の味方」になってほしいと願っています。また、そうなるための「種まき」を今後も家庭・地域と協力し、行ってまいります。来る2026年もご支援、ご協力の程よろしくお願ひいたします。



コミュニティースクール事業

7年生が職業体験として、マクドナルドや郵便局、保育園等、地域のお店や公共機関で働かせて頂きました。仕事に対する向き合い方やそのやりがいなど、体験を通して多くの学びがあったようです。地域の皆様、お世話になりましたありがとうございました。

7年 ミライ Quest (職業体験)



コミュニティースクール事業

5年 正月飾りづくり体験

総合の時間に育てた稻のワラを富多神社の例大祭でご祈祷していただき、そのワラを使って正月飾りを作りました。当日は春日部市文化財課の方々とPTA会長の吉田様にお越しいただきご指導を頂きました。思った以上に難しい作業でしたが、神様の宿った立派な飾りが作れて子どもたちは満足していました。



音楽会

今年も「願いをのせて Echo to the Future」のスローガンのもと、全校児童が一堂に会して素晴らしい歌声を体育館中に響かせることができました。また学年ごとのスローガンも考えられ、ジュニア、ミドル、ハイステージそれぞれの良さが発揮されていました。最後の全体合唱「Believe」では江戸川小中学校ならではの全9学年の歌と心が一つとなった素敵な瞬間を体験できました。

